

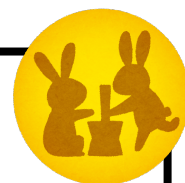
令和 4 年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和 4 年 9 月 12 日 (月)

校長 高橋 励



Dear Student(*_*)

今回の学校便りは、親愛なる赤羽根中生徒のみなさんに向けて書いてみました。

前期終業までひと月を切りました！

期末テストも終わり、今年度1年間もまもなく半分が過ぎようとしています。みなさんと顔を合わせてからもう間もなく半年です。

3年生は、中学校生活も最終コーナーに差し掛かります。自分の進む道を具体的に考えながら、中学校生活(最初で)最後の合唱大会に向けて、最上級生として見せる自分たちの姿を磨き上げていくのでしょうか。

2年生は、3年間の折り返しのタイミングでのキャンプ。一泊二日で仲間とともにとても濃い時間を過ごすことでしょう。感染症対策を優先しながらのプログラムですが、日常では得られないものを一つでもたくさん見つけてきてほしいです。

1年生は、やっと第1コーナーを曲がったあたりでしょうか。中学校での生活はこれから本番を迎えますが、半年ちょっとで“センパイ”と呼ばれる立場になるんですね。日常の学校生活でも、部活動でも、委員会や生徒会の活動でも、行事でも、来年度の1年生はあなたたちの姿勢やことばから、中学生としての振る舞いを学んでいくことになります。あと半年ちょっとの中で、一つでも多くの事を自ら身に付けられることを期待しています。

あなただって、実は“生徒会”！



ところで、今週15日(木)に生徒会役員選挙がありますね。1年生のみなさん。小学校6年生に“生徒会”って何か、説明できますか？「児童会と同じだよ！」という声が聞こえてきそうですね。でも、中学校で小学生と“同じ”レベルではちょっと物足りないかも。

“生徒会活動”は、“同じ場所(=学校)で生活している人たち(=生徒一人ひとり)が、自分たちで役割を分け持って、自分たちがよりよく生活していくためにする活動”だと中学校の先生に(43年ほど前かな?)教わりました。例えば、学級や学年で過ごす毎日をよりよいものにしていくために、中心になって考え、先頭に立って活動するのが学級委員、とか。5つの常任委員や特別委員会の委員なども、みんなの学校生活をよりよくするために“生徒会活動の先頭に立ってくれる”人たちです。

“先頭に立って”といいましたが、生徒会会員であるみなさん全員、実は生徒会のひと。なので“先頭に立って”活動してくれている代表者をしっかりと支え協力することは“当たり前”のことですね。

裏面もありますよ！



立候補者を支える雰囲気で！

さて、今回の生徒会“役員”選挙は、そんな“生徒会活動の一番先頭に私が立つ！”という気持ちを持った、みなさんの代表を選出するためのもの。時には全校の生徒会員の代表として“赤羽根中学校の顔”となることもある生徒会“本部役員”。そのさらに要の会長・副会長を選びます（生徒会役員選挙規定第3章第15条）。候補者が4名以上いれば、ふさわしい3名を選ぶ「選挙」、定数内であれば、「その人を信じて任せてよいか」を判断する「信任」のための投票をすることになります（第16条）。

ちなみに、わたしは、“誰かがやらなければならないことを引き受けます！”という人を応援したい性分です。そして、“認めない・任せないというのであれば、代わって自分が引き受ける姿勢と覚悟を見せるのが礼儀”だと思っています。

先頭に立つ人の思いをきちんと受け止めて、立候補者が“がんばろう！”と思えるような役員選挙を期待しています。

※1年生のみなさん！生徒手帳の16ページから一度は読んでおきましょうね(*^_^*)

ヒーローが辛い時

誰がヒーローを守ってあげられるだろう

ところでみなさん、「僕のヒーローアカデミア」ってコミック、知ってますか？主人公が、自分の成長を振り返りながら、最高のヒーローになるまでを物語るお話で、さまざまな特殊能力（＝個性）を持ったキャラクターが登場し、それぞれが「困っている人を助けるために自分の個性をどう活かして役立てられるか」を考え、努力し成長する姿が描かれています。

212話の冒頭、主人公のピンチに立ち会う麗日お茶子というヒーロー志望の女の子の、こんな一人語りがあります。

初めてヒーロー活動を目にした時、活動よりも周りの人々の表情に目が行った。人の喜ぶ顔が好きだった。だから、困っている人を助ける事は当たり前だった。その当たり前がいかに大変なことなのか。余裕がなくて必死に助けている彼を見てきたから思う。

ヒーローが辛い時、誰がヒーローを守ってあげられるだろう。

さて。赤羽根中のためにがんばる人を支えられるのは、誰でしょう？

かきね の かきね の まがいかど～♪ ～落ち葉の季節に思うこと～

この9月に入ってから、正門付近の落ち葉掃きが朝の趣味になりました。みなさんを迎える時間は30分ほどありますので、+αの活動としては意外と面白くて、発見もあります。一番の発見は「声をかけられるとなんだかうれしい！」ということ。生徒会本部役員のみなさんと門に立ってあいさつ運動をしているときとはひと味違った感触です。

落ち葉を集めているときは、登校してくるみなさんのほうを見ていない時もあり、時には来たことに気づかないことも。門から離れた場所を掃いているときには、わたしがいることに気づかない人もいるかもしれません。そんな時に「おはようございます！」とあいさつされると「校長先生！そこにいることを、わたしはちゃんと気づいてますよ！」と言われている気分になり、なんだかうれしくなって気持ちも元気になるものなんです。

毎日、何気ない一言で元気をくれるあなたへ。きっとあなたは、気づかないうちに、ほかの身近な人たちにも元気をチャージしてくれているのでしょうね。いつもありがとう！